

# ものづくり改善リーダー 育成スクールのご案内

コロナ禍によって、2019年度を最後に休止していた「ものづくり改善インストラクター育成スクール」は、このたびリニューアルして「ものづくり改善リーダー育成スクール」に改称し、今秋10月17日に開講します。

何卒、再開する本スクールをご活用いただきますようご案内申し上げます。

## ■事業内容

- (1) ものづくり現場で抱えている諸問題を顕在化させ、マクロとミクロの視点で分析し、合理的な対策を示して解決へと導く、いわゆる課題形成力を有する「改善リーダー」の育成を図ります。
- (2) そのために座学として、ものづくりの基礎である基幹講座と改善の進め方である支援講座の講義を行います。更に、実践力の向上を図るべく、改善の進め方の各手法について、演習に取り組む場を設けています。
- (3) スクール修了要件を満たした参加者には「幸田ものづくり改善リーダー」として認定されます。
- (4) スクール終了後、修了者は自社の「改善計画」に取り組んでいただきます。その際には、スクールの講師が改善計画の現場に赴き、修了者に指導と助言を行って、改善成果に結びつけると共に、改善リーダーとしての独り立ちを支援します。

## ■応募対象者

- ・ものづくり企業における現場責任者および現場リーダークラス 等
- ・ものづくりに関心を持つ方（企業OB 等）

## ■定員

8名（定員になり次第締切）

## ■事業協力

一般社団法人 ものづくり改善ネットワーク（MKN）  
（東京大学ものづくり経営研究センターの後継団体）

## ■講師

- ・東京大学ものづくり経営研究センタースクール修了生
- ・当スクール修了生
- ・外部専門家

## ■受講料

2万円／人

## ■実績（スクール修了生・2019年度末累計）

- ・現役 36名
- ・OB 8名



## ■開講期間

令和6年10月17日（木）から令和7年1月31日（金）までの期間で14日間  
 詳細は次のカリキュラムをご覧ください。

<令和6年（2024年）度のカリキュラム>

これまでの受講生の声を取り入れたカリキュラムに改編!!

令和6年(2024年)度 ものづくり改善リーダー育成スクール カリキュラム

’24年9月6日

分類	No.	開催日	9:00	10:00	11:00	昼休み	13:00	14:00	15:00	16:00
座学 ものづくりの基礎	1	10月	17日(木)	開講式	改善リーダーの心構え(コミュニケーション含む) (秦講師)			制約条件の理論(ゴールドラット)① (飛田講師)		
	2		18日(金)	制約条件の理論(ゴールドラット)② (飛田講師)			制約条件の理論(ゴールドラット)③ (飛田講師)			
	3		25日(金)	ものづくりの基礎/ものづくりの全体構図(生産管理含む) (三木講師)			ものづくりの基礎/ものづくり&安全 (秦講師)			
	4	11月	1日(金)	ものづくりの基礎/4Mと生産性 (秦講師)			ものづくりの基礎/品質について (三木講師)			
	5		8日(金)	ものづくりの基礎/納期について (三木講師)			ものづくりの基礎/原価について (岩出講師)			
座学 改善の進め方	6	11月	15日(金)	データの取り方&まとめ方 (三木講師)			改善の進め方/IE (三木講師)			
	7		22日(金)	改善の進め方/標準作業 (三木講師)			改善の進め方/IoTの活用 (※後日決定)			
	8		29日(金)	改善の進め方/問題発見の着眼点 (秦講師)			改善の進め方/改善ストーリー(QCストーリー) (秦講師)			
演習 改善手法	9	12月	6日(金)	改善手法(演習)/なぜなぜ分析 (秦講師)			改善手法(演習)/VSMの作成 (秦講師)			
	10		13日(金)	QCツールの活用法(演習)/QC七つ道具(グラフ、特性要因図、パレート図、etc) (三木講師)						
	11	1月	10日(金)	QCツールの活用法(演習)/新QC七つ道具(親和図、連関図、系統図、etc) (秦講師)						
	12		17日(金)	改善手法(演習)/標準作業(組立作業→標準作業票へ) (三木講師)						
	13		24日(金)	改善手法(演習)/IoTの実践的活用 ① (※後日決定)						
	14		31日(金)	改善手法(演習)/IoTの実践的活用 ② (※後日決定)			改善計画の発表		修了式	

○カリキュラムの主な見直し点

### 1. 地域密着型の指向

従来の座学は、ややアカデミック的過ぎる内容も含まれていたもので、地元のものづくり現場の実情に即して、基本重視の講座に絞り込んでいます。

### 2. 演習時間の大幅拡大

諸般の事情により、協力していただく企業での「現場改善実習」が出来ない代りに、各種の改善手法の演習時間を大幅に増やして、実践力の向上を図ります。

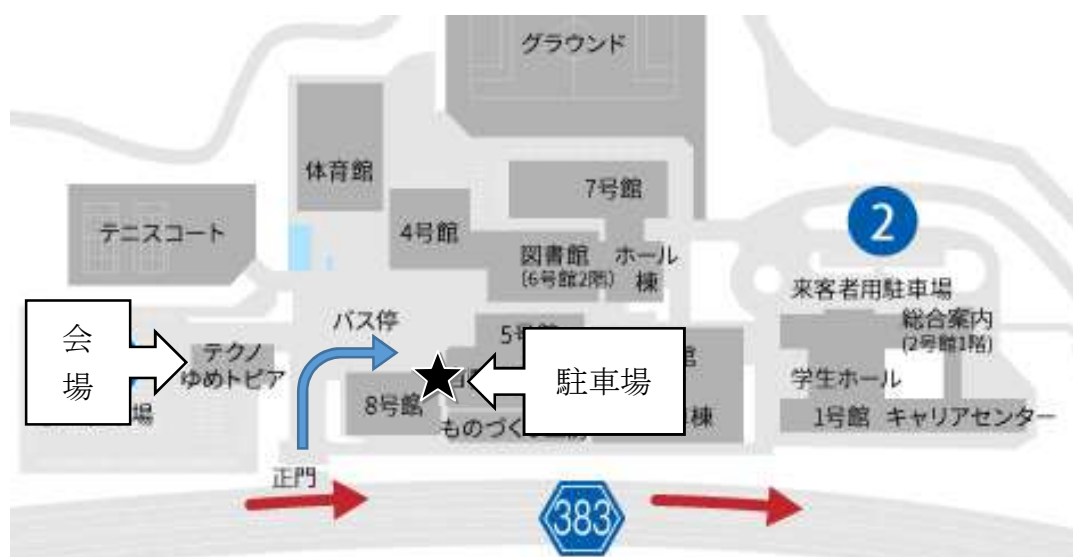
## ■修了式へのご出席のお願い

スクール受講者の上司の方は、修了式(令和7年1月31日(金))にご出席いただき『自社の改善計画の発表』と『終了認定証』の授与への立ち会いをお願いいたします。

## ■会場

幸田ものづくり研究センター

(愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2 愛知工科大学 テクノ夢トピア棟 3階)



## ■お申込方法

10月1日(火)までに Email で下記担当に①事業所名②所属部署③役職④氏名  
⑤メールアドレス⑥納付書の送付先住所を記載の上お申し込みください。後日受講料  
の納付書を送付します。

**幸田ものづくり研究センター (愛知工科大学テクノ夢トピア棟3階)**

〒443-0047 愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2

TEL/FAX 0533-67-6557

URL <http://www.town.kota.lg.jp/soshiki/3/>

Email [miki.makoto@g.aut.ac.jp](mailto:miki.makoto@g.aut.ac.jp)